

総合教育センターだより

第79号

平成17年12月

「学校を支援する」センターとして 講座改革を進めています

- 教育改革等の動向や学校ニーズに対応した講座
 - ・ 校種間連携の推進
 - ・ 初任者・新規採用者研修講座の工夫改善
 - ・ 参加体験型研修を重視した新規講座の開設
- 受講しやすい講座
 - ・ 柔軟な講座日程の設定
 - ・ 南北2会場における同時開講
 - ・ 出前講座の拡充
- ITECの活用
- 専門的力を高めるための指導者養成講座

教育改革等の動向や学校ニーズに対応した講座

校種間連携の推進

学力の充実に向けて

新規

「国語力アップ促進講座」



ポスターセッションで実践を発表する受講者

小・中学校の教員が国語科教育の在り方について研修を深めました。

この講座ではパネルディスカッションや受講者が自分の授業の工夫をポスターに表し、積極的に発表し合うポスターセッションという参加型の実習を実施しました。

「小学校基礎学力充実講座」

パネルディスカッションでは中学校からもパネラーが参加して、学力向上の具体的な方策について、互いに意見を出し合いました。



TV会議システムで中学校から会場に向けて話をするパネラー

『総合的な学習の時間』講座

『総合的な学習の時間』の一層の充実に向け、全校種の受講者がそれぞれの立場から育てたい力を明確にし、その在り方や実施方法について具体的に協議して、実践上の課題の共有化を図りました。

教育改革等の動向や学校ニーズに対応した講座

初任者・新規採用者研修講座の工夫改善

期待に応える教員を目指して

先輩から初任者へ「開講式」での体験発表

新規

「開講式」では、前年度の受講者が研修講座を受けた感想や1年間の学校での実践などを発表しました。先輩からの励ましを受け、これから始まる初任者・新規採用者研修講座のスタートを切りました。

実践的指導力の向上

「高い専門性」の育成

「教師は授業で勝負する」を合言葉に今年度は特に教科指導に関する研修を充実させました。「授業参観実習講座」や「教科指導演習講座」では示範授業や模擬授業を通して基本的な指導技術の定着を図る内容としました。

また、教科指導と道徳や総合的な学習の



模擬授業に使う指導案検討

時間との関連を重視した講座内容となるように改善を図りました。

さらに、

300名近い初任者を少人数グループに分け、演習や研究協議を行うとともに、それぞれのグループごとにきめ細かな指導助言が行えるよう工夫しました。

2学期に向けて新たな決意

宿泊研修の成果

4日間の宿泊研修では、自然体験活動等を通して受講者相互の交流が一層深まりました。



自然の家での研修風景

また、2学期の教育活動の充実に向け、これまでの実践を振り返って、自己課題を認識するとともに、授業構想や指導計画等具体的に協議を深めました。

良き社会人として

「豊かな人間性」「広い社会性」の育成

「社会奉仕体験活動研修講座」では従来の特別養護老人ホームでの体験に加え、今年度から、環境教育の視点を取り入れた里山整備の体験活動を「府民の森ひよし」で実施しました。

さらに、「社会体験活動研修講座」ではプロのアナウンサーなどを講師として招き、接遇マナーや社会人としての対話の進め方等のコミュニケーション能力の向上を図ります。

ITECを活用して効果的な講座運営

多くの講座でITECを活用し、準備物の連絡や参考となる学習指導案等の資料提示を行うなど、周到的な事前準備を促すことで、より深まりのある研修となるよう、講座運営の工夫改善を図っています。



里山整備活動

参加体験型研修を重視した新規講座の開設

学校ニーズに対応して

新規 知的好奇心の育成をめざして

小学校理科ものづくり講座

本講座は、「児童の知的好奇心を高め、実感を伴う理解を促すものづくり」をねらいとしています。グループごとに遊園地、鉄道模型、運動会等のテーマを決めて製作に取り組みました。児童が集められる身近な素材と乾電池、電球やモーターなどを使い、多彩な作品ができました。

作品は、ITECに掲載する予定です。



遊園地の回転塔に挑戦

受講者の声

- ・具体的な作品が提示され、身近な材料で楽しくポイントを押さえたものづくりができた。
- ・試行錯誤の経験を重ねることが、おもしろさを膨らませることにつながるのだと学びました。

新規 実技指導力の向上を目指して

小学校理科実験ベーシック講座〈A・C区分〉

小学校体育科実技実習ベーシック講座

小学校音楽科実技実習ベーシック講座

小学校図画工作科実技実習ベーシック講座

小学校家庭科実技実習ベーシック講座

昨年度の小学校理科実験ベーシック講座〈B区分〉を他の実技教科にも拡充しました。基本的な実技指導力の向上をねらいとした講座です。受講者自身が指導の基礎・基本に立ち返り、実験・実技実習の技能を習得するとともに、それを生かした授業展開の工夫についても理解を深めました。



音楽の講座風景



体育の講座風景

受講者の声

- ・子どもの自由な発想を大切に、作り出す喜びを味わえる指導をしたい。
- ・運動が苦手な子どもも、体を動かすことが楽しくなる指導法を学びました。
- ・普段気付かず見過ごしていた基本的な点が勉強でき、今後の実践に向けて自信ができました。
- ・色の使い方を少し工夫することで、楽しい絵が描けることが分かった。

新規

教科教育講座の新たな方策

国語力アップ促進講座

読解力の向上を目指して

小学校基礎学力診断テスト等の結果分析をもとに、小・中学校の国語科における指導力の一層の向上を目指しました。優れた実践発表や授業の在り方についての研究協議・演習を通して、読解力向上の方策を探りました。



ポスターセッションの様子

受講者参加型の研修

授業の中での具体的な工夫等について、多くの受講者が積極的に発表できるよう、新たに実習（ポスターセッション）を取り入れました。小・中学校での実践を相互に紹介し質問等に応じる活発な活動となり、受講者の研修意欲が高まり、積極的、主体的な研修となりました。

専門家による指導助言

講師には、講義だけでなく、実践発表・パネルディスカッション・ポスターセッションにも参加いただき、それぞれの場所で講義内容をもとにした具体的な助言を受けることができました。

実践ポスターをITECに掲載

ポスターセッションでの実践事例はITECに掲載する予定です。各校において十分活用し、子どもの国語力アップにつなげてください。

受講者の声

- ・自分の実践を短くまとめ、要点を絞って簡潔に協議する大変有効な研修でした。ポスターセッションという方法で校内研修を企画したいと思います。
- ・中学校国語科として小学校で何を、どのように学んでいるかを具体的に理解することは重要である。さらに小・中・高を通して国語力の育成という視点に立ち、指導内容や方法について連携することも必要だと思った。

自動体外式除細動器(AED)の使用

健康安全教育講座

新規

「健康安全教育講座」「初任者・新規採用者研修健康安全教育講座」では、関係機関の協力を得て人工呼吸や避難誘導等に加え、心室細動による突然死から命を救う有効な手段であるAEDを使った実習を取り入れました。

受講者の声

- ・AEDの使い方を学び、緊急時には対応できる自信がついた。



AEDを使った実習風景

新規

LD、ADHD、高機能自閉症等児童生徒への指導・支援を充実

特別支援教育コーディネータースキルアップ講座

本講座は、特別支援教育コーディネーターを養成するために、「特別支援教育コーディネーター養成研修」修了者を対象に、より専門的力量を高めることをねらいとし、新設した講座です。「授業参観」「実践発表」「研究協議」から構成し、地域の実態に即した内容を中心に実施しました。

参観を通して、授業での配慮や支援の実際を見るとともに、実践発表では、校内支援体制の在り方と特別支援教育コーディネーターが果たしてきた役割や機能等についての内容が取り上げられました。研究協議では、各自が持参した「校内支援体制図」「個別の指導計画」をもとに、各校における特徴的な取組や指導・支援の工夫などについて協議を行いました。

特別支援教育コーディネータースキルアップ講座

各教育局ごとに実施



特別支援教育コーディネーター養成講座シリーズⅢ

特別支援教育コーディネーター養成講座シリーズⅡ

特別支援教育コーディネーター養成講座シリーズⅠ

特別支援教育関係講座の体系図

受講者の声

- ・個に応じた指導という視点に立ち、指導・支援することの重要性を強く再認識した。
- ・本講座を受講し、地域の特別支援教育が大きく進むよう、地域の中で精一杯努力したい。
- ・一人一人の子どもの教育を考えると、校種間での連携が重要であり、コーディネーターとしてその任を果たさねばならない。

新規

学校評価を通じた特色ある学校づくりを目指して

小・中学校「マネジメント能力向上」特別講座

本講座は、特色ある学校づくりの推進に向け、各校において、学校評価を円滑に実施し、組織的な教育活動を充実させることをねらいとしています。

企業の組織マネジメントの手法を学校組織に置き換え、教育目標・重点目標から具体的方策まで、学校経営計画について検討・作成・実施・検証するための手法や各校の環境を客観的に分析する手法など、演習を多く取り入れ、学校経営に生かせる内容となるよう工夫しています。



SWOT分析等のグループ演習

受講者の声

- ・本校でも学校評価を通してさまざまな取組が進んでいるが、学力向上の担当として今回の研修で学んだSWOT分析をぜひ生かしてみたい。
- ・日常の業務に生かせる視点が多くあった。各取組のPDCAサイクルが有効に機能するよう、いくつかの手法を校内の何人かに呼びかけて試してみたい。

受講しやすい講座

研修講座の午後実施

新規

ITECの活用と講座内容の重点化

ITECの積極的活用による講座資料等の事前配布や、研究協議などの焦点化など、実施方法を工夫することにより、日程を短縮し、学校や受講者から要望があった、午後から実施する講座を大幅に増やしました。

主な午後開講講座

- 「生徒指導講座」
- 「校長講座Ⅱ」
- 「部長・主任等演習特別講座」
- 「学校運営基礎特別講座」

受講者の声

- ・午前中、授業をしてから受講できることは大変ありがたい。
- ・講座内容が焦点化されていてよかった。
- ・事前に課題を提示し、その対応を講座で討議する運営は中身がより深まって有効だった。

南北2会場における同時開催

研修会場が近くなりました

新規

臨場感のあるTV会議システムの導入

今年度新たに京都みらいネットを活用した最新のTV会議システムを導入し、センターと北部研修所を結んで、2箇所同時開催の講座を設定しました。

「校長講座Ⅰ」



センター会場

北部研修所会場

大容量の回線を双方向で使用しているため、一般のテレビ画像と同じようになめらかな画像で、2会場が一体となった講座が展開できました。

受講者の声

- ・最初少し違和感があったが、それ以上に職場に近いところで研修ができてよかった。
- ・臨場感があってよかった。

出前講座の拡充

各教育局ごとに学校を会場として開講

学校を会場にするメリットを生かし、学校の設備を使用した理科実験を実施したり、管内において先進的な実践をしている教員を講師に招いたりするなど、それぞれの学校での取組に直結する内容となるよう工夫するとともに、身近で参加しやすい講座としました。

小学校理科ベーシック講座<B区分>
特別支援教育コーディネーター
スキルアップ講座

受講者の声

- ・自校の設備でできる実験であり、早速自分でもやってみたい。
- ・局管内の具体的な課題が共有できた。他校とも連携しながら努力したい。

研修講座にかかわる情報の提供

講座の効率的・効果的な運用

本年開設したI T E C（京都府総合教育センターホームページ）において、講座に関する情報を積極的に提供し、研修講座の効果的な運営を図りました。

事前の活用

- ・参考となる資料等を知らせる。
- ・課題や研究協議題を提示する。
- ・携行品（指導計画、指導案等）を知らせる。

講座内での活用

- ・掲載されている資料（教材・教具等）を使って研修する。
- ・教材・教具や関連サイト等を講座で紹介する。

事後の活用

- ・講座で作成した教材や指導計画等の成果物を掲載し、成果の波及を図る。
- ・講座で使用した資料を掲載し、復習等での活用を促進する。

【受講者の声】

- ・事前に課題が出されることにより、講座で見直しをもった研修ができた。
- ・事前に情報を提供していただくことで分科会の選択に役立った。

- ・学校に帰って、もう一度I T E Cを見ながら復習してみたい。
- ・講座で紹介されたサイトを校内研修会で活用したい。

- ・自分が作成した教材がI T E Cに掲載されみんなに見てもらえると思うと、よりよいものをつくらねばと、頑張った。
- ・復習にもなるし、校内研修にも使えると思うので、掲載されたら早々に活用したい。

I T E C 上でのユーザー名、パスワードについて

I T E C 上で「研修講座一覧」、「来所・巡回教育相談Q & A（教師向け）」及び「小学校基礎学力診断テスト結果の概要」等を閲覧する場合、ユーザー名・パスワードの入力が必要です。

なお、www2.kyoto-be.ne.jp/ed-center/ で始まる内部ホームページ(京都みらいネットワーク内で接続されたパソコン)の場合ユーザー名、パスワードの入力は不要です。

専門的力量を高める指導者養成講座

教育実践のリーダーとして

教科や領域等における高い専門性を身に付け、実践や校内研修等における中心的な役割を担う教員の育成を図りました。

中学校理科教育特別講座
学校教育相談実技指導者養成特別講座
情報化推進リーダー養成特別講座
特別支援教育コーディネータースキルアップ講座

受講者の声

- ・生徒の視点に立った教材・教具の開発のノウハウとともに、自分なりの工夫や独創性の大切さを学んだ。授業改善に生かしたい。
- ・教員として不登校等子どもの課題に適切に対応するためには、まず的確な見立てが重要であることを学んだ。面接法など校内研修に生かしたい。
- ・校内ネットワークの整備とともに、実習でのソフトを授業で生かす方策を継続して研究したい。
- ・地域コーディネーターとして、各校のコーディネーターや学級担任への支援についてP D Sのプロセスの管理という点を重視して取り組まねばならない。

教育相談・特別支援教育に関する研修会を支援

研究主事等派遣事業

市町村教育委員会や府立学校が主催する教育相談指導者研修会及びLD、ADHD、高機能自閉症等の特別支援教育にかかわる指導者の会議及び教育相談事例検討会等に所員を派遣し、具体的な事例に基づく教育相談や、特別支援教育推進のための体制づくりなどに関する指導助言を行っています。

新規 小学校の理科教育情報を提供

理科メールマガジンの発刊

「理科大好きっ子の育成」

小学校の理科担当教員及び希望者を対象に理科に関する情報を、今年度4月から毎月1回配信しています。現在、読者は500余に達しています。

主な内容は

- 理科教育に関する研修講座の案内、情報
- 今月のおすすめ実験
- その他

「今月のおすすめ実験」

3年生「あたたかさ太陽の光」
4年生「電気のはたらき」
4年生「空気や水をとじこめると」
4年生「ものの温度とかさ」
6年生「ものの燃え方と空気」
5年生「もののとけ方」
5年生「てんびんとてこ」
6年生「水よう液の性質」

この中で、「今月のおすすめ実験」は、ITECの「小学校理科実験基本マニュアル」の内容から、学習指導計画に合わせて、タイムリーに実験内容を選んで掲載しています。実験のねらいや留意点等を写真や動画で分かりやすく紹介しています。

児童生徒の興味・関心を引きつける実験や教材・教具などの情報の提供をお待ちしています。また、引き続き理科メールマガジンの読者を募っています。詳しくは北部研修所へ御連絡ください。

新規 新しくなった教育コンテンツ

センターでは、ITEC上の教育コンテンツを更新しています。

・コンテンツ作成協力員による教育コンテンツ

[トップページ](#) → [センターからのお知らせ・更新情報](#) → [新コンテンツ掲載のお知らせ](#)

ITECでは講座関連情報の他、多くの教育情報を提供しています。

ぜひ積極的に活用していただくとともに、御意見、御要望をお寄せください。

センターでは、教職員の資質能力の向上に向け、講座の体系的整備や参加体験型の研修の導入など、より質の高い魅力ある研修講座となるよう、その充実に努めています。研修講座等に関する御意見、御要望をお寄せください。

府立学校教職員のための電話相談窓口 (075) 612-3048

セクシュアル・ハラスメントに係る相談窓口・教育実践に係る相談窓口

木曜日 午後1時から午後7時まで（祝日を除く）

京都府総合教育センター 〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町

TEL (075)612-3266 FAX (075)612-3267

企画教育部 (612-2950) 教職教育部 (612-2952)

障害児教育部 (612-2953) 教育相談室 (612-2959)

ふれあい・すこやかテレホン(612-3268または3301) 毎日8:30-20:30(祝日を除く)

http://www1.kyoto-be.ne.jp/ed-center/ E-mail ed-center@kyoto-be.ne.jp

北部研修所 〒623-0012 綾部市川糸町堀ノ内

TEL (0773)43-2934 FAX (0773)43-2935

ふれあい・すこやかテレホン(0773)43-0390 月～金 10:00-19:00(祝日を除く)

E-mail ned-center@kyoto-be.ne.jp